

岩本委員のご提案、最後の質問への回答について（塩瀬委員）

Q. 「今回提案させて頂いた内容は、『へき地などの条件不利地域』や『小規模校』に限った『特例』的な話に留めて良いものでしょうか？」

A. 留めるべきではないと思います。ぜひ、この提案を皮切りに全面展開を視野にいれた制度設計にしていきたいです。不登校特例校についても同様に提案しておりますが、すべての学校に適用していきたいと思ひますし、そうでなければ地域の51%を不登校特例校にしまえば、逆に登校特例校が必要になるなど逆転現象が起こせると思ひます。

インクルーシブデザインと同じ考えですが、特定少数のニーズは実は普遍的なニーズの凝縮であり、その解決こそが全体に水平展開すべきです。『僻地』『小規模』への配慮が、不登校生徒、外国籍ルーツの移民生徒、長期入院の病児などあらゆる児童生徒のニーズを網羅する新たな高等学校のモデルを提示できるのではないのでしょうか。

以上により、「留めるべきではないと思ひます。」が回答になります。